

令和3年度 出前講座内容

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	小	中	高	特	団体等	担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名
県の課題	101	人材育成基本方針の考え方	60分程度	「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」、「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」、「学校管理職等育成プログラム」についてその基本的な考え方、趣旨について具体的に説明します。また、「教職員研修の手引」、「管理職研修の手引」を基に、県教委が実施する研修の方針や研修の進め方を具体的に説明します。	島根県の教員として求められる資質・能力についてキャリアステージごとに解説します。自分自身の研修計画、キャリアプランニング等を考えてい上で参考にしてもらえると考えています。	○	○	○	○	○	学校企画課 人材育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	村上 寺井 加藤(淳) 伊藤(豪)
キャリア教育	102	「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育	60～90分	「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育について考えていきます。 【項目】・「キャリア・パスポート」とは ・「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の実際 ・「キャリア・パスポート」作成の演習	「キャリア・パスポート」が始まり、1年が経ちました。「『キャリア・パスポート』を児童・生徒に書かせることは児童・生徒にとってどのような効果が見られる?」「1年間取り組んでみたが、これでよいか?」といった声に対してお役に立てると考えます。	○	○	○	○	○	教育指導課 地域教育推進室 キャリア教育スタッフ	堀江
	103	新学習指導要領におけるキャリア教育の実際	60～90分	「学力の育成と関連付けたキャリア教育の実際」について考えていきます。 【項目】・学習内容に関すること ・指導方法に関すること ・体験的な活動に関すること ・島根県のめざすキャリア教育に関すること	「キャリア教育と学力はどんな関係だろうか?」「キャリア教育とは新たに何かしなければならないのか?」という不安があると聞いています。そうといった声に対してお役に立てると考えます。	○	○	○	○	○	教育指導課 地域教育推進室 キャリア教育スタッフ	堀江
生徒指導	104	いじめの問題への対応	30～90分	いじめの定義を正しく理解し、いじめの正確な認知に関する教職員間での共通理解を図ることにより、それぞれの学校のいじめ防止基本方針に沿った対応について考えていきます。	「これはいじめに当たるの?」「未然防止や早期組織対応と言われるけど実際はどうすればいいの?」などといった方のお役に立てると考えます。	○	○	○	○	○	教育指導課 子ども安全支援室 各教育事務所	安食
	105	アンケート調査を活用した学級集団づくり(基礎編)	30～60分	アンケートQUの概要を理解することにより、直面する課題について学級集団に対するチームでの働きかけや面談を通じての個人への働きかけについて考えていきます。	アンケートQUは実施しているが「結果をどのように活用してよいか分からない」「分析の仕方が分からない」などといった方のお役に立てると考えられています。	○	○	○	○	○	教育指導課 子ども安全支援室 各教育事務所	安食
	106	自死予防に関する取組	30～60分	アンケート調査や教育相談等の実施により、悩みを抱える児童生徒の早期発見につなげ、保護者や他機関と連携しながら組織的に対応することの重要性について考えていきます。	「未然防止の為にどんなことをしたいの?」「希死念慮や自死企図に対してどう対応したいの?」などといった方のお役に立てると考えます。	○	○	○	○	○	教育指導課 子ども安全支援室 保健体育課	安食
ふるさと教育	107	ふるさと教育推進講座	60～90分	平成17年度から県内公立小・中学校で実施されている「ふるさと教育推進事業」は、多くの学校において、地域の「ひと・もの・こと」を活用し、特色を活かした取組が見られるようになりました。本講座では、目的やねらいの明確化、児童・生徒に育みたい力とは何か、系統的・発展的な取組など、それぞれの学校の実態に応じた効果的なふるさと教育の在り方について一緒に考えます。 【講義・演習60～90分】	各教科等における地域の教育資源の効果的な活用、総合的な学習の時間を中心とした地域課題解決型学習を進める上でのポイント等について、教職員で考える機会になります。	○	○	○	○	○	社会教育課/ 教育指導課	武田
人権教育	108	これからの人権教育	80～90分	これからの人権教育の考え方を理解するとともに、「進路保障」の理念や学びの保障について考えを深めます。 【主な内容】 次の内容を中心に、演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 ①これからの人権教育 ②「進路保障」の実際 【実施にあたっての注意点】 ①演習・グループワーク等ができる場所を確保してください。 ②実施の日程等の条件が調整できない場合にはお断りすることもあります。	子どもの抱える困難の背景が多様化・複雑化するなかで、学びの保障のために教職員は何を知っておく必要があり、何ができるのかを考えます。 各学校の実態やニーズに合わせたモデル事例を用い、一人一人の子どもの背景に目を向けながら必要な支援や取組を検討します。	○	○	○	○	○	人権同和教育課	奥野
	109	「人権学習」の授業づくり	90分	「人権教育指導資料第2集」を柱に、人権学習の授業において子どもたちにつけたい力、重点は何かについて理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 【受講対象について】 受講人数8名以上であれば、学年部単位での申込も可能です。 【実施にあたっての注意点】 ①演習・グループワーク等ができる場所を確保してください。 ②実施の日程等の条件が調整できない場合にはお断りすることもあります。	人権学習を展開する際の、わらいの設定や教材の選定に関する基本的な考え方を学びます。 次項目の「性の多様性が認められる学校づくり」と合わせて受講していただき、「SOGI」について考える授業づくりの演習も可能です。 (合わせて受講をする場合は、120分～150分程度の時間を確保してください。)	○	○	○	○	○	人権同和教育課	奥野
	110	性の多様性が認められる学校づくり	60～90分	令和2年春に発行した「性の多様性が認められる学校づくり」リーフレットの内容に触れながら、「SOGI」「LGBT等」について理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 【実施にあたっての注意点】 ①演習・グループワーク等ができる場所を確保してください。 ②実施の日程等の条件が調整できない場合にはお断りすることもあります。	多様な性の構成要素に着目し、すべての人に関わる「SOGI」について理解します。 各学校の実態やニーズに合わせた演習を行い、性的指向・性自認等で悩んでいる子どもも含め、誰もが安心して生活できる学校づくりのためにできることは何かを検討します。	○	○	○	○	○	人権同和教育課	奥野
健康教育	111	学校保健・食育に関する健康課題の理解と対応	60分	R2年度に改訂した「学校保健計画策定の手引～しまねっ子元気プラン～」の内容に基づき、学校保健や食育に関する課題の理解と対応について、講義・演習を行います。	このような研修・演習を行います。 ・健康教育に関する指導についての理解とその進め方 ・食に関する指導についての理解とその進め方 ・朝食摂取・内容の改善について ・健康とメディアリテラシー～CM分析～をとおして など	○	○	○	○	○	保健体育課	吉谷
理科	201	子どもが意欲的に取り組む理科授業づくり	90～150分	理科の授業づくり充実のための研修。主体的な問題解決学習はどのように進めればよいか、具体的な事例や教材紹介、実験・演習等とおして研修します。 ※時間や内容の詳細は、相談に応じます。	自然現象との合わせ方(導入)や実験方法等、主体的な問題解決学習の進め方についてお困りの方にお役に立てると考えています。	○	○	○	○	○	島根県教育センター 企画・研修スタッフ	八木

令和3年度 出前講座内容

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	小	中	高	特	団体等	担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名
道徳	202	「考え、議論する」道徳の授業づくり	90～120分	道徳科の授業づくりのポイントを探ります。チームによる教材研究(授業づくりシートの作成)を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現するための道徳科の授業づくりの演習を行います。 ※時間や内容等について、詳細は事前にご相談ください。	道徳科においても「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業が求められています。「道徳科の授業づくり」に困っている「主体的・対話的で深い学びを実現する道徳科の授業について考えたい」といった方のお役に立てると考えています。	○	○				島根県教育センター 企画・研修スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	園山
教科等横断	601	つなぐ! つなげる! 教科等横断的な学びの第一歩	60～90分	教科等横断の視点でカリキュラム・マネジメントを進めていくための視点やポイントを整理してお伝えします。 ・「教科等横断的な学び」とは? ・今の自分でできることを見つめてみよう。 ・学校で組織的に進めていくためにできることは?	カリキュラム・マネジメントの1側面である「教科等横断」について、「何からはじめれば良いのか、からスタートしたい」といったニーズに応えます! また、学校の研究主題や校内目標等を踏まえた内容への変更が可能です。	○	○	○			浜田教育センター 研究・研修スタッフ	澄川
特別活動	602	特別活動(学級活動)の授業づくり(基本編)	60～90分	これから特別活動に力を入れて取り組んでいきたいという学校向けです。 学級活動(1)を中心に学級活動の役割や基本的な授業づくりについて考えます。県内小学校の実践をもとに取組のポイントを知ること、教職員が共通理解を図り、チーム学校で取り組むイメージづくりに役立ちます。	学級活動(1)の授業づくりについて、事前の活動、本時の活動、事後の活動と、どう取り組むか学校全体で考えていくことができると考えています。	○					浜田教育センター 研究・研修スタッフ	三浦
複式教育	603	複式学級の学習指導	90～120分	～複式学級における授業づくりのポイント～ 複式教育についての基本的な考え方、複式学級の授業づくり、特に学年別指導のポイントや児童の主体的な学習を促すガイド学習等について実践事例を基にした講義、演習等を行います。 (複式学級新任担当者研修で実施した講義内容をもとに行います)	複式学級の授業づくりについて、どのように取り組むかを実践事例をもとに考えていくことができます。	○					浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	三浦 多々納
算数	604	算数科の授業づくり	90～120分	学習指導要領を踏まえた算数科における授業改善の具体的方策を考えていきます。 主な講義内容 学習指導要領で目指す「算数科の授業の在り方」を考える ～「子どもの声でつくる算数授業」の具体について知り実践に生かすために～	基本的な内容は、左の「出前可能な講座の内容」にある通りですが、「評価についても合わせて知りたい」など、学校からのニーズに合わせた内容を付加することは可能です。	○					浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	三島原
生活	605	生活科の授業づくり	60～120分	学習指導要領で示されている方向性を理解し、授業づくりについて講義や演習等を変えて考えます。 【講義・演習】 「学習指導要領で目指す生活科の授業づくり」	生活科の基本的な授業づくりの内容になります。「今まで実践してきた授業は本当に良かったのか不安!」新学習指導要領でどこが変わったのかよく分からないといった方のお役に立てると考えています。	○					浜田教育センター 研究・研修スタッフ	多々納 三浦
図画工作・美術	606	新学習指導要領に対応した図工・美術の授業づくり	60分～90分	図工や美術の新学習指導要領で目指す方向性を理解し、これからの授業づくりについて講義や演習等を変えて考えます。 ※時間や内容は相談に応じます。校内研修や各市郡の教育研究会研修会等でもぜひご利用ください。	基本的な授業づくりの内容から、1領域に焦点化した内容まで、依頼者のニーズに沿った内容とすることが可能です。	○	○				浜田教育センター 研究・研修スタッフ	澄川
外国語活動英語	301	外国語活動・英語科の授業づくり	60分～90分	小学校外国語活動・英語科及び中学校英語科の授業づくりについて、小中連携を軸にして考えます。 主な講義内容 「小中連携を軸にした授業づくり」 ※各市郡の教育研究会研修会等でもぜひご利用ください。	小学校外国語活動・英語科で求められている英語の力は? 中学校ではどんな授業を目指しているの? など、授業力向上のためには小学校中学校がお互いを知ることが大切です。小中連携を軸にした授業づくりを旨とし、授業力を向上させたい方にお役に立てると考えています。	○	○				島根県教育センター 研究・情報スタッフ	高田
教育の情報化	302	GIGAスクール時代のICT活用講座(講義のみ)	40～60分	※講義のみの研修です※ 児童生徒にとってわかりやすい授業を実現するための効果的なICTの活用方法について講義を通して理解し、今後のICTを活用した授業づくりに向けての素地を作ります。 ○講義 「GIGAスクール構想の背景/教育の情報化と求められるICT活用指導力/ICT機器を活用した取組の実践例」等	機器の使い方は教育委員会等の研修を受けたが(予定も含む)、どのように活用すれば良いのか?、そもそも何のためにこれらが整備されたのか? 等について学校教職員全員での目線合わせを行いたいという学校にお勧めです。講義のみ最短40分から設定のため、通常の職員会議の時間に合わせた研修も可能です。	○	○	○			島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	岩橋 大屋 高見 多々納
	303	GIGAスクール時代の情報モラル教育講座	40～90分	GIGAスクール構想による1人1台端末を持つ児童生徒に欠かせない「情報モラル」の指導について、本研修での授業づくり等を通して情報モラル教育の実践力を高めます。 ○講義 「GIGAスクール構想の背景/情報モラル教育の進め方/動画教材・配布資料等の紹介」等 ○演習 情報モラルの授業づくり等 ※時間によって内容は若干変わります※	1人1台端末環境整備に合わせて「情報モラル教育」を教職員全体で取り組もうとお考えの学校にお勧めです。最短40分から設定のため、通常の職員会議の時間に合わせた研修も可能です。	○	○	○			島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	岩橋 大屋 高見 多々納
	304	小学校プログラミング教育講座(導入編)	120分	小学校プログラミング教育について、導入された背景や何をどう学ぶのか等の基本的な考え方を知るとともに、その実際をプログラミング体験しながら、無理なく実践につながるよう支援しています。 ○講義 「小学校プログラミング教育の基本的な考え方」 ○演習 プログラミング体験(コンピュータを用いずに行う指導、5年算数、6年理科) ※学校に設置されているパソコンを使用します。そのため、事前にメール等でICT環境について確認させていただきます。	「なぜプログラミング教育を行う必要があるのか?」「本来、学校は何をすればよいのか?」といった小学校プログラミング教育の基礎から改めて確認したい学校にお勧めです。A分類(学習指導要領)に例示されている内容で行うものの授業をイメージした体験を行います。	○					島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	高見 多々納 岩橋
特別支援教育	401	多様なニーズに応じた指導・支援の基盤とは(ワークショップ)	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進のために、配慮を必要とする児童生徒について理解し、その対応について一緒に考えます。	学習上や生活上の児童生徒の様々な困難さについて、学校のニーズに応じて、疑似体験や演習を通して、実際に感じてもらうことで、理解を深めていきます。	○	○	○			島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	出来山 蘆山 景山 土井 永見 天津
	402	通常の学級における気になる子どもの見方について考える～子どもの見方とらえ方～	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、学習指導(読み書き等)または生徒指導(社会的関係形成)上の困難さ等について考えます。	子どもを理解するには、その行動の背景を考えることが大事です。仮想事例を通してその背景を考えることで、具体的な支援方法へのヒントが見つかります。	○	○	○			島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	出来山 蘆山 景山 土井 永見 天津

令和3年度 出前講座内容

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	小 中 高 特 休				担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名			
						小	中	高	特			休		
特別支援教育	403	合理的配慮の提供～個への対応～	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、「合理的配慮とは何か」「合理的配慮と基礎的環境整備について」「具体的な合理的配慮」について考えます。	グループでの演習を通して、合理的配慮を行うに当たり、学校で何をしたらよいか、様々な視点から考えます。	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ	出来山 蘆田 景山 土井 永見 天津	
	404	中学校・高等学校における配慮を必要とする生徒の支援について考える～青年期の支援について～	90～120分	中・高校生における配慮を必要とする生徒の理解と対応について一緒に考えていきます。生徒自身が自己の良さに気づき、目標をもって進むための大人のかかり方について、中高連携の在り方や校内支援体制について併せて考えていきます。	事例を通して、中学校、高等学校段階の配慮を必要とする生徒への理解を深め、校内でどのように支援していったらよいか考えます。	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ	出来山 蘆田 景山 土井 永見 天津	
教育相談	501	保護者と学校のよりよい関係づくり	60～90分	学校が保護者の方とよりよい関係を築く上で大切な「関係づくりの基本姿勢」や「具体的な対応方法」等を、教育センター作成の校内研修プログラム「保護者と学校のよりよい関係づくり」を活用して分かりやすく学びます。	ありそうでなかった「保護者の方との関係づくり」を考える校内研修のプログラムがこれです！9つのプログラムを1つのDVDにまとめてあり、どれもスイッチを押すだけで簡単に研修に取り組みすることが出来ます。再現動画で分かりやすく学び、対話型演習で、校内の教職員みんなが対話し、考え、それぞれの学校に合った答えを見つけ、共有することができるよさを体感しませんか！	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ	吉田 笹原 大野 岩上	
	502	次へのヒントが見つかるケース会議	60～90分	「解決志向」の考えに基づき、「次の一手を生み出すケース会議」の運用について参加者全員で体験的に学びます。講義と演習を組み合わせて行います。	情報共有だけに終わるのではなく、「前向きな解決策のヒントが見つかる」「短時間でできる」ケース会議の手法について学びます。	○	○	○	○	○	○	浜田教育センター教育相談スタッフ	岩上	
	503	愛着(アタッチメント)形成に課題のある子どもの理解と支援	120分	愛着(アタッチメント)の課題についての基礎的な理解を深め、学校でのかかり方において大切にしていきたいことについて、講義形式で学び、明日からのかかり方のヒントになることを見つけていきます。	近年「愛着(アタッチメント)」についての視点を持ちながら、子どもたちを理解し、支援していくことの大切さについて、教育の世界でも注目されるようになってきました。学校全体でチームとして子どもたちへの支援をしていくために、まずは「愛着(アタッチメント)」について、みんなで「知ること」から取り組んでみませんか？そして、これまでのご自身の実践を「愛着」の視点で見つめ直し、明日からの支援のあり方について考えてみましょう。	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ	笹原	
	504	不登校の理解とよりよい支援を考える	90～120分	不登校について、子どもやその保護者への理解を深め、よりよい支援や校内体制のあり方について、講義と演習を通して学びます。	不登校という課題に学校としてどのように向き合っていけばよいか、不登校児童生徒及びその保護者とのよりよいかかり方・・・など不登校の初期対応や継続支援のあり方について意見を出し合い、深めていきましょう。	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ	吉田 岩上	
	505	気にかかる子どもへの理解とかかり方を深めるワーク	90～120分	日頃、自分が気にかかる子どもを思い浮かべ、教育センター作成の「気にかかる子どもに関するワークシート集」にあるワークシートを活用し、子ども自身をとらえ直したり、関わり方を見つめなおしたりします。明日からのよりよいかかり方の手が見つけたい「子ども理解」のワークです。	日常の慌ただしさの中で少し立ち止まって、自分が気にかかっている子どもやその子にかかわる自分を見つめなおすことができるワークです。子どもや自分に対して新たな気づきを得られたり、プラスの感情が湧いてきます。ワークシート集には、「子どもをとらえ直すシート」が9種類、「かかり方を見つめるシート」が1種類あります。自分の取り組みたいシートを選び、取り組むことで、子どもへの理解を深め、よりよいかかり方を見つめましょう！	○	○	○	○	○	○	○	島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ	大野 岩上
学校事務	203	事務グループ活動の推進	90～180分	①事務グループの役割・進め方についての講義・演習 ②事務グループ活動において実施される、諸手当、旅費等の実務研修支援を行います。(給与・旅費等の実務研修ではありません) ※原則事務グループ(単位)を対象とした講座(複数グループも可、おおよそ20名を限度)	事務グループ活動について、各市町村において推進しているところですが、「事務グループで何をしたらいいか分からない」「具体的な進め方について知りたい」場合に事務グループで考える機会の支援ができると考えています。また、グループ活動で行っている旅費等実務研修の参考にしてもらえると考えています。							○	島根県教育センター企画・研修スタッフ/学校企画課	伊藤 加藤

☆島根県教育センターのHP【入力フォーム】から申し込みをしてください。「送信完了画面」の表示が出ると申し込み完了です。
☆実施希望日が重なった場合ご希望にお応えできないことがありますので、ご了承ください。

方法	実施期間	受付期間	備考
年間一括	6月下旬～2月下旬 *年間実施分	4月下旬～5月21日 *6月中旬までに実施の可否を送付します	・第2希望まで申し込みが可能 (第1希望か第2希望かを明記すること)